

## 平成 22 年度事業報告書

### I. 事業の実施状況

#### 1. 奨学援助

##### (1) インドネシア人奨学生に対する奨学援助

###### 1) インドネシア人奨学生に対する奨学金の支給

日本インドネシア友好 50 周年に当たる平成 20 年は、奨学生の採用数を例年より 2 名増員した。この平成 20 年度採用奨学生 5 名は、平成 23 年 3 月、それぞれ、次の修士課程を修了し、学位を授与された。

- ア. 北海道大学工学研究科材料科学専攻、
- イ. 千葉大学理学研究科地球生命圏科学専攻、
- ウ. 早稲田大学創造理工学研究科経営システム専攻、
- エ. 慶応義塾大学理工学研究科総合デザイン工学専攻、
- オ. 星薬科大学薬学研究科薬学専攻

平成 21 年度奨学生 3 名は、平成 22 年 4 月より修士課程に入学し、平成 23 年 3 月、1 年次を終了した（千葉大学融合科学研究科、慶応義塾大学理工学研究科及び九州大学工学府、各 1 名）。

平成 22 年度奨学生 3 名は、5 月に 1 名及び 9 月に 2 名が来日し、研究生としての勉学及び日本語学習に励み、それぞれ修士課程の入学試験に合格した（星薬科大学薬学研究科、高知大学総合人間自然科学研究科及び早稲田大学情報生産システム研究科、各 1 名）。

上記奨学生には、それぞれの帰国、来日にあわせて航空券を支給し、また勉学期間中の生活費等を支給し、大学及び日本語学校には学費を納付した。

当財団は、学費の外、指導教授が承認した学会及び野外調査への参加経費を支援しており（修士課程の年次に限り、年間 10 万円を限度として参加実費を負担）、当事業年度の支援件数は、本邦で開催された学会参加 9 件、外国で開催された学会参加 1 件及び野外調査 1 件の合計 11 件に達した。

当財団は、奨学生の日本語能力向上のため、日本語能力試験（JLPT）の受験を奨励している（受験費用を負担）。当事業年度は、JLPT 受験レベル N3 に 1 名、N4 に 3 名、N5 に 1 名の合計 5 名が合格した。

## 2) インドネシア人奨学生に対する支援

平成 20 年度奨学生及び平成 21 年度奨学生に関しては、在学大学の指導教授や事務局と密に連携し、留學生活中の支援・指導に努めた。平成 22 年度採用の奨学生は当財団が身元保証し、受入大学・指導教授との打ち合わせを行い、奨学生来日前には、研究生としての入学出願並びに許可の取得、在留資格認定証明の取得等を行い、来日後は区役所、大使館への登録、国民健康保険への加入などを手助けした。追って大学院修士課程への受験、入学についても指導教授、大学事務局とも連携し、万全を期した。

なお、在京の奨学生に対する毎月の生活費の支給は財団事務所で行い、顔を合わせながら適切な助言・指導を行った。また、奨学金支給日に在京の奨学生が殆ど集結するため、財団事務所が奨学生間のコミュニケーションの場ともなっている。東京地区以外在住の奨学生については、毎月銀行送金により奨学金を支給し、受取確認とともに毎月の身辺雑記の報告を求めている。この報告等をもとに適宜、助言・指導を行った。

平成 22 年度採用の奨学生に対しては、来日直後の 5 月 31 日及び 9 月 13 日にそれぞれ歓迎式を行った。また恒例行事として、現役奨学生及び在日インドネシア人奨学生 OB 並びに日本人の奨学生 OB を対象とした忘年会を 12 月 10 日に開催した。当事業年度で修士課程を修了した平成 20 年度奨学生 5 名及びその指導教授を対象に謝恩会を平成 23 年の 2 月 25 日（3 組合同）、3 月 10 日及び 3 月 28 日に開催した。

## (2) 日本人奨学生に対する奨学援助

### 1) 日本人奨学生に対する奨学金支給

平成 21 年 10 月に渡航した平成 21 年度採用の日本人奨学生（沖縄県立芸術大学博士課程在籍）は、バリ島において「バリの楽器鍛冶による音作り」に関する 1 年 6 カ月にわたる現地での調査・研究を終了し、平成 23 年 3 月に帰国した。平成 22 年度奨学生の 2 名について、1 名（東京外国語大学博士課程在籍）は、バリ社会の基礎的村落共同体の変容を研究テーマに 4 月に渡航し、また、もう 1 名（立教大学博士課程在籍）は、バンドン市の都市建設に多大な貢献を果たした 20 世紀初頭のオランダ人建築家シュマケルの作品の調査と評価のため 7 月に渡航し、それぞれ研究を続けている。

日本人奨学生に対し、それぞれの帰国、渡航にあわせて航空賃及び現地研究期間中の生活費等を支給した。

### 2) 日本人奨学生に対する支援

インドネシアで調査研究中の日本人奨学生に対しては、その都度必要な助言を行い、研究活動を支援した。また、奨学生からは、インドネシアの生活情報や留學・研究活動について毎月レポートを提出させている。これらの資料は、今後採用する奨学生の生活、留學及び調査研究活動への参考資料として活用する。

### (3) 平成 23 年度採用奨学生の募集と決定

平成 23 年度奨学生の募集については、募集要項を平成 22 年 8 月 1 日、財団のホームページに掲載することによって開始した。これに加え、インドネシア人奨学生募集については、従来どおり、大統領府国家官房 (SEKNEG) に対して各省庁への奨学生募集の通知と応募者の取り纏めを依頼し、また、国民教育省と科学院 (LIPI) には別途募集を通知し、応募者を募るよう依頼した。平成 23 年度奨学生への応募者は 59 名に達した。また、日本人奨学生の募集については、ホームページに加え、日本インドネシア協会発行の「月刊インドネシア」紙上での広告や各大学への応募要項の送付などにより奨学生を募集した。応募者は 4 名であった。

これらの応募者に対して、平成 23 年 1 月 20 日に開催した選考委員会による選考を経て、3 月 10 日の評議員会及び理事会で、次のインドネシア人 3 名及び日本人 2 名を平成 23 年度の奨学生として採用することを承認した。

- ①アイルランガ大学薬学部講師  
(星薬科大学薬学研究科修士課程を志望)
- ②トリサクティ大学 (地質工学科) 2010 年 3 月卒  
(千葉大学理学研究科修士課程を志望)
- ③エネルギー・鉱物資源省石油・ガス研究開発センター研究員  
(岐阜大学工学研究科修士課程を志望)
- ④沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員  
(バリ島で民族音楽学の研究)
- ⑤広島大学国際協力研究科修士課程在籍学生  
(ジョグジャカルタ市近郊で農村社会学の研究)

## 2. 学術文化交流

財政上の理由により事業実施を見送った。

## 3. 公益団体助成事業

公益財団法人公益法人協会、留学生奨学団体連絡協議会、財団法人アジア学生文化協会及び財団法人日本力行会にそれぞれ年会費等を支出した。

## Ⅱ. 管理運営の状況

### 1. 奨学資金積立資産の元本取崩しの状況

平成22年3月4日に開催された第78回理事会の特別決議によって、当事業年度収支予算において奨学資金積立資産のうち一部を取り崩して投資活動収入に計上することが承認された。予算承認額35,000千円のうち、30,410千円を取崩した。

### 2. 役員及び評議員の再任並びに理事長、常務理事の選任

役員及び評議員の任期が平成23年3月25日に満了を迎えるため、3月10日に開催された第73回評議員会で次期役員が（全員再任）、また同日に開催された第80回理事会で次期評議員が選任された（全員再任）。第80回理事会では互選により、理事長及び常務理事が選任された（いずれも再任）。

以上

**貸借対照表**  
平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	171,017	115,523	55,494
普通預金	20,440,824	14,872,852	5,567,972
立替金	0	205,000	△ 205,000
流動資産合計	20,611,841	15,193,375	5,418,466
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	859,340,720	859,895,720	△ 555,000
定期預金	1,847,180	1,847,180	0
普通預金	555,000	0	555,000
基本財産合計	861,742,900	861,742,900	0
(2) 特定資産			
奨学資金積立資産			
投資有価証券	199,315,585	229,254,998	△ 29,939,413
定期預金	9,619,700	15,000,000	△ 5,380,300
普通預金	0	0	0
特定資産合計	208,935,285	244,254,998	△ 35,319,713
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	1,070,678,185	1,105,997,898	△ 35,319,713
資産合計	1,091,290,026	1,121,191,273	△ 29,901,247
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	0	310,080	△ 310,080
流動負債合計	0	310,080	△ 310,080
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	310,080	△ 310,080
<b>III. 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	861,742,900	861,742,900	0
指定正味財産合計	861,742,900	861,742,900	0
(うち基本財産への充当額)	(861,742,900)	(861,742,900)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	229,547,126	259,138,293	△ 29,591,167
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(208,935,285)	(244,254,998)	(35,319,713)
正味財産合計	1,091,290,026	1,120,881,193	△ 29,591,167
負債及び正味財産合計	1,091,290,026	1,121,191,273	△ 29,901,247

## 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	19,255,739	33,842,351	△ 14,586,612
② 特定資産運用益			
奨学資金積立資産受取利息	8,602,251	11,615,446	△ 3,013,195
③ 受取寄付金			
受取寄付金	0	10,000,000	△ 10,000,000
④ 雑収益等			
受取利息	7,643	7,005	638
雑収益	252,000	222,000	30,000
経常収益計	28,117,633	55,686,802	△ 27,569,169
2) 経常費用			
① 事業費			
奨学金事業費	34,393,582	32,193,947	2,199,635
学術文化交流事業費	0	0	0
公益団体助成事業費	105,000	105,000	0
会議費	274,280	0	274,280
旅費交通費	1,137,224	0	1,137,224
通信運搬費	12,270	0	12,270
印刷・製本費	121,275	0	121,275
広報経費	207,263	0	207,263
雑費	148,695	0	148,695
計	36,399,589	32,298,947	4,100,642
② 管理費			
人件費	0	16,440,172	△ 16,440,172
役員報酬	2,200,000	0	2,200,000
給料手当	13,304,638	0	13,304,638
選考諸会議費	0	175,500	△ 175,500
会議費	127,000	0	127,000
旅費交通費	44,910	1,076,855	△ 1,031,945
通信運搬費	34,002	47,012	△ 13,010
印刷・製本費	36,225	206,850	△ 170,625
広報経費	92,400	287,325	△ 194,925
交際費	0	199,500	△ 199,500
租税公課	70,000	64,100	5,900
雑費	490,323	921,547	△ 431,224
計	16,399,498	19,418,861	△ 3,019,363
経常費用計	52,799,087	51,717,808	1,081,279
当期経常増減額	△ 24,681,454	3,968,994	△ 28,650,448
2. 経常外増減の部			
1) 経常外収益			
① 特定資産(奨学資金積立資産)評価益	16,828,512	16,411,564	416,948
経常外収益計	16,828,512	16,411,564	416,948
2) 経常外費用			
① 特定資産(奨学資金積立資産)評価損	21,738,225	59,251,540	△ 37,513,315
経常外費用計	21,738,225	59,251,540	△ 37,513,315
当期経常外増減額	△ 4,909,713	△ 42,839,976	37,930,263
当期一般正味財産増減額	△ 29,591,167	△ 38,870,982	9,279,815
一般正味財産期首残高	259,138,293	298,009,275	△ 38,870,982
一般正味財産期末残高	229,547,126	259,138,293	△ 29,591,167
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産受取利息	19,255,739	34,266,251	△ 15,010,512
② 一般正味財産への振替額	△ 19,255,739	△ 33,842,351	14,586,612
当期指定正味財産増減額	0	423,900	△ 423,900
指定正味財産期首残高	861,742,900	861,319,000	423,900
指定正味財産期末残高	861,742,900	861,742,900	0
III 正味財産期末残高	1,091,290,026	1,120,881,193	△ 29,591,167

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 公益法人会計基準（平成16年10月14日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申し合わせ）を適用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
基本財産中及び特定資産中の投資有価証券は全て満期保有債券である。基本財産中の投資有価証券には償却原価法を適用している。特定資産中の投資有価証券は、豪ドル建ての外貨建有価証券であるので、前事業年度より決算時の為替相場による円換算額を付している。
- (3) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	859,895,720	0	555,000	859,340,720
定期預金	1,847,180	0	0	1,847,180
普通預金	0	555,000	0	555,000
小計	861,742,900	555,000	555,000	861,742,900
特定資産				
投資有価証券	229,254,998	0	29,939,413	199,315,585
定期預金	15,000,000	0	5,380,300	9,619,700
普通預金	0	0	0	0
小計	244,254,998	0	35,319,713	208,935,285
合計	1,105,997,898	555,000	35,874,713	1,070,678,185

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	859,340,720	859,340,720	0	0
定期預金	1,847,180	1,847,180	0	0
普通預金	555,000	555,000	0	0
小 計	861,742,900	861,742,900	0	0
特定資産				
投資有価証券	199,315,585	0	199,315,585	0
定期預金	9,619,700	0	9,619,700	0
普通預金	0	0	0	0
小 計	208,935,285	0	208,935,285	0
合 計	1,070,678,185	861,742,900	208,935,285	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価(参考値)	評価損益
第237回国債	199,993,000	202,614,400	2,621,400
第284回国債	246,454,840	252,941,164	6,486,324
第6回フェニシア中銀円貨債	192,795,000	195,810,000	3,015,000
77回(20年)国債	50,341,200	52,130,000	1,788,800
78回(20年)国債	75,308,300	77,025,000	1,716,700
93回(20年)国債	65,109,880	67,427,250	2,317,370
66回(5年)国債	29,338,500	29,394,400	55,900
小計	859,340,720	877,342,214	18,001,494
豪ドル建て豪州債	199,315,585	197,583,949	△1,731,636
合 計	1,058,656,305	1,074,926,163	16,269,858

以 上

# 財産目録

平成23年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目		金額	
I. 資産の部			
1. 流動資産			
1) 現金預金			
現金手許有高		171,017	
普通預金			
三菱東京UFJ銀行(赤坂見附)		18,878,002	
みずほ銀行(恵比寿)		1,562,822	
計		20,440,824	
定期預金			
三菱東京UFJ銀行(赤坂見附)		0	
みずほ銀行(恵比寿)		0	
計		0	
流動資産合計			20,611,841
2. 固定資産			
1) 基本財産			
投資有価証券			
237回利付国債(10年)		199,993,000	
284回利付国債(10年)		246,454,840	
6回チュニジア中銀円貨債		192,795,000	
長期(20年)77回利付国債		50,341,200	
長期(20年)78回利付国債		75,308,300	
長期(20年)93回利付国債		65,109,880	
66回利付国債(5年)		29,338,500	
計		859,340,720	
定期預金			
三菱東京UF銀行(赤坂見附)		1,847,180	
普通預金			
三菱東京UF銀行(赤坂見附)		555,000	
前払経過利子		0	
基本財産合計		861,742,900	
2) 特定資産			
投資有価証券			
豪ドル建てオーストラリア国債		199,315,585	
計		199,315,585	
定期預金			
三菱東京UFJ銀行(赤坂見附)		9,619,700	
普通預金			
三菱東京UFJ銀行(赤坂見附)		0	
特定資産合計		208,935,285	
3) その他固定資産			
その他固定資産合計		0	
固定資産合計			1,070,678,185
資産合計			
			1,091,290,026
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
流動負債合計			0
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			
			0
正味財産			
			1,091,290,026

## 収支計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I.事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)基本財産運用収入				
預金利息収入	0	0	0	
公社債利息収入	19,000,000	19,255,739	255,739	
(2)特定資産運用収入				
奨学資金積立資産運用収入	8,600,000	8,602,251	2,251	
(3)寄付金収入				
寄付金収入	0	0	0	
(4)雑収入				
預金利息収入	0	7,643	7,643	
雑収入	0	252,000	252,000	
事業活動収入計	27,600,000	28,117,633	517,633	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	38,030,000	36,399,589	△ 1,630,411	
奨学金事業費支出	35,310,000	34,393,582	△ 916,418	
学術文化交流事業費支出	0	0	0	
公益団体助成事業費支出	300,000	105,000	△ 195,000	
会議費	300,000	274,280	△ 25,720	
旅費交通費支出	1,300,000	1,137,224	△ 162,776	
通信運搬費支出	70,000	12,270	△ 57,730	
印刷製本費支出	250,000	121,275	△ 128,725	
広報経費支出	300,000	207,263	△ 92,737	
雑費支出	200,000	148,695	△ 51,305	
(2)管理費支出	18,980,000	16,399,498	△ 2,580,502	
人件費支出	0	0	0	
役員報酬支出	2,400,000	2,200,000	△ 200,000	
給料手当支出	15,000,000	13,304,638	△ 1,695,362	
選考諸会議費支出	0	0	0	
会議費支出	200,000	127,000	△ 73,000	
旅費交通費支出	100,000	44,910	△ 55,090	
通信運搬費支出	30,000	34,002	4,002	
印刷製本費支出	50,000	36,225	△ 13,775	
広報経費支出	100,000	92,400	△ 7,600	
交際費支出	0	0	0	
租税公課支出	100,000	70,000	△ 30,000	
雑費支出	1,000,000	490,323	△ 509,677	
事業活動支出計	57,010,000	52,799,087	△ 4,210,913	
事業活動収支差額	△ 29,410,000	△ 24,681,454	4,728,546	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入計	35,000,000	30,410,000	△ 4,590,000	
2.投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	35,000,000	30,410,000	△ 4,590,000	
III.財務活動収支の部				
1.財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV.予備費支出	1,000,000	0	△ 1,000,000	
当期収支差額	4,590,000	5,728,546	1,138,546	
前期繰越収支差額	14,883,295	14,883,295	0	
次期繰越収支差額	19,473,295	20,611,841	1,138,546	